

ZERO CARBON
DECADE

企業研修
CORPORATE TRAINING MOVIE

みんなで始めよう脱炭素

第一部 脱炭素の必要性

北海道経済部ゼロカーボン推進局
ゼロカーボン産業課

POINT 01 世界各地で止まらない気温上昇

世界平均地上気温変化(20世紀の平均値との差)

1.4℃ 上昇

Global average temperature in May (1880-2021)

2023年1月～9月の世界の気温は、産業革命以前の平均気温を1.4℃上回ったと報告。
世界の気温が観測史上最高を更新するとの見通しを発表。(注:この気象情報提供)

POINT 02 世界各国で異常気象が発生

海水の減少

▲ 海水の減少により重要な生態を奪われ、絶滅の危機に瀕しているアゴヒゲアザラシ

各地で超える海面上昇

▲ 海面上昇により落ちて壊れた椰子の木の木

威力が強まった熱帯低気圧

▲ 強いハリケーンにより水浸しとなった町

引用元: 気象庁気象研究所気象情報センターウェブサイト (https://www.jma.go.jp)

POINT 03 日本でも年間猛暑日が増加

猛暑の記録更新地点 多数

年間猛暑日 最多記録	群馬県 桐生市 46日
埼玉県 熊谷市 45日	
京都府 京都市 43日	

年間最長日 最多記録	岐阜県 多治見市 101日
群馬県 桐生市 99日	
群馬県 前橋市 95日	

東京でも記録的な猛暑

年間最長日 99日 | 最長日連続日数 9日連続 | 猛暑日 過去最多 90日 | 過去最長 64日 | 統計開始以降初

9月 北海道・東北地方での熱中症による救急搬送者数増加

北海道と秋田県で昨年より10倍増

9月 最も遅い猛暑日記録を更新	9/28 甲府市 / 静岡市
9/17 長野市 / 鳥取市	
9/16 新潟市 / 岐阜市	
9/16 奈良市 / 京都府	
9/14 さいたま市	

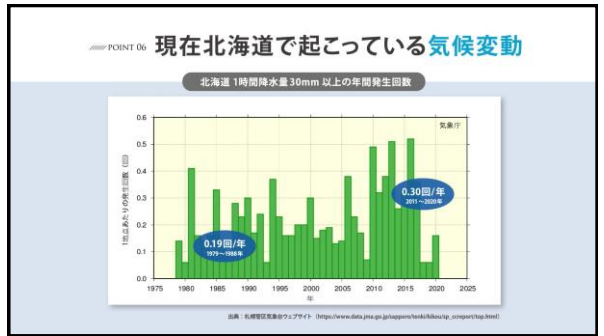
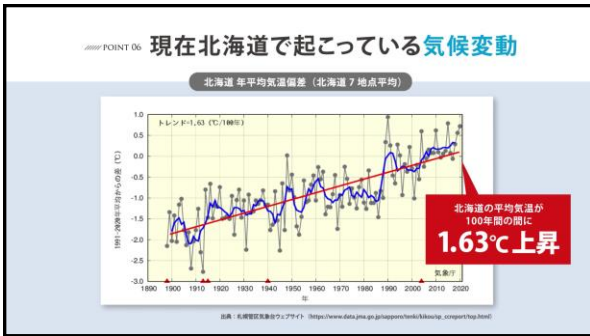
POINT 04 温暖化の原因は温室効果ガス

温暖化の原因は
温室効果ガスの増加

POINT 05 産業革命以降の経済活動で温室効果ガスが増加

地球温暖化の仕組み

産業革命以前(200年前) | 現在



POINT 07 気候変動により北海道で起きている影響

平成 28 年 北海道豪雨災害



▲ 2016年8月の北海道の天候に影響を及ぼした台風の種類 (出典:札幌放送局のホームページ)

出典: 国土交通省 北海道開発局

POINT 08 気候変動により北海道で今後起こりうる影響

農作物の病害虫被害拡大 / 今までになかった病害の発生



POINT 08 気候変動により北海道で今後起こりうる影響

感染症を媒介する蚊などの生物の生息域の拡大



POINT 08 気候変動により北海道で今後起こりうる影響

渇水の頻発化・深刻化

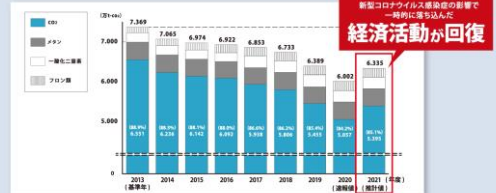


POINT 09 気候変動により起きたプラスの影響

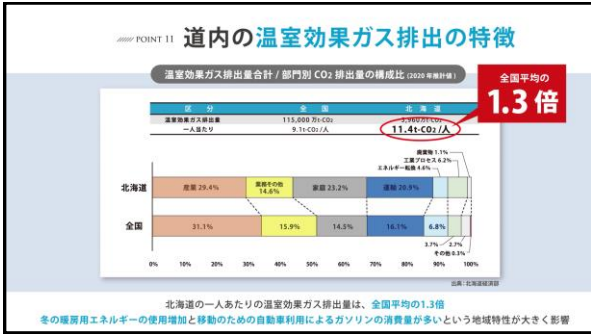
ブリなどの魚獲量増加



POINT 10 道内の温室効果ガス排出量



道内の温室効果ガス排出量のピークは、2002(H14)年度の7,547千t-CO₂/年
2013年度以降は概ね減少傾向



- ### POINT 12 ゼロカーボンを巡る世界の動向
- 1997年 2月 「京都議定書」採択 (主に参加国: イギリス、フランス、ドイツ等)**
 - 地球温暖化の原因となっている温室効果ガスを減らすための国際条約
 - 1990年を基準として削減割合を決定、日本の削減目標は $\pm 6\%$
 - 2015年 12月 「パリ協定」採択 (参加数: 175の国と地域)**
 - 京都議定書の後継であり、2020年以降の気候変動問題に際する国際的な枠組み
 - 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2.0°C 以内におさえて 1.5°C 以内を努力目標とする
 - 目標達成には、今世紀後半に温室効果ガスの人為的な排出と吸収のバランスを達成し、排出量を実質ゼロとする
 - 2021年 10月～11月 COP26 (イギリス・グラスゴー参加数: 197の国と地域)**
 - 「グラスゴー気候宣言」として公式文書に 1.5°C 目標が明記されたことにより、気候変動対策の基準が 1.5°C に事実上設定された
 - 2022年末までに各国が独自に定める2030年の温室効果ガス排出削減目標の見直しを要請

- ### POINT 13 ゼロカーボンを巡る日本の動向
- 2020年 10月 菅総理による2050年カーボンニュートラル宣言**
 - 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指す
 - 2021年 4月 2030年度温室効果ガス排出量を新たに表明**
 - 2030年度に2013年度比46%削減を目指し、更に50%の高みに向けて挑戦
 - 2020年 3月**
 - 北海道は国に先駆け、**ゼロカーボン北海道** と称して取り組みを宣言





MEKIT **ゼロカーボンがもたらす事業者メリット**



SUMMARY **脱炭素の必要性まとめ**

SUMMARY **脱炭素の必要性まとめ**



**温室効果ガスが
気温上昇の大きな原因**

人の経済活動によって増えた温室効果ガスが地球温暖化の大きな原因の一つになっている。



**自然や生活環境に
多大な影響**

世界全体の気温上昇が自然や私たちの生活環境に多大な影響を及ぼしている。



**北海道でも
様々な環境が変化**

北海道にも多大な影響が例外なく起こっており、今後も増え続けていくことが懸念される。

